

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社奥白馬総合リゾート（旧奥白馬高原開発株式会社）					
代表者名	氏名	安達 暁子	役職名	代表取締役		
主たる事務所の所在地	長野県北安曇郡小谷村千国乙12860-1					
主たる事業の分類	大分類	M 宿泊業、飲食サービス業				
	中分類	75 宿泊業				
主たる事業の概要	ホテル スキー場					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	1,515	1,485	794	1,038	1,237
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	3,364	3,297	1,778	2,346	2,837
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	16		15	15	10
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	233				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020	年度～	2022	年度
------	------	-----	------	----

報告対象年度	2022	年度
--------	------	----

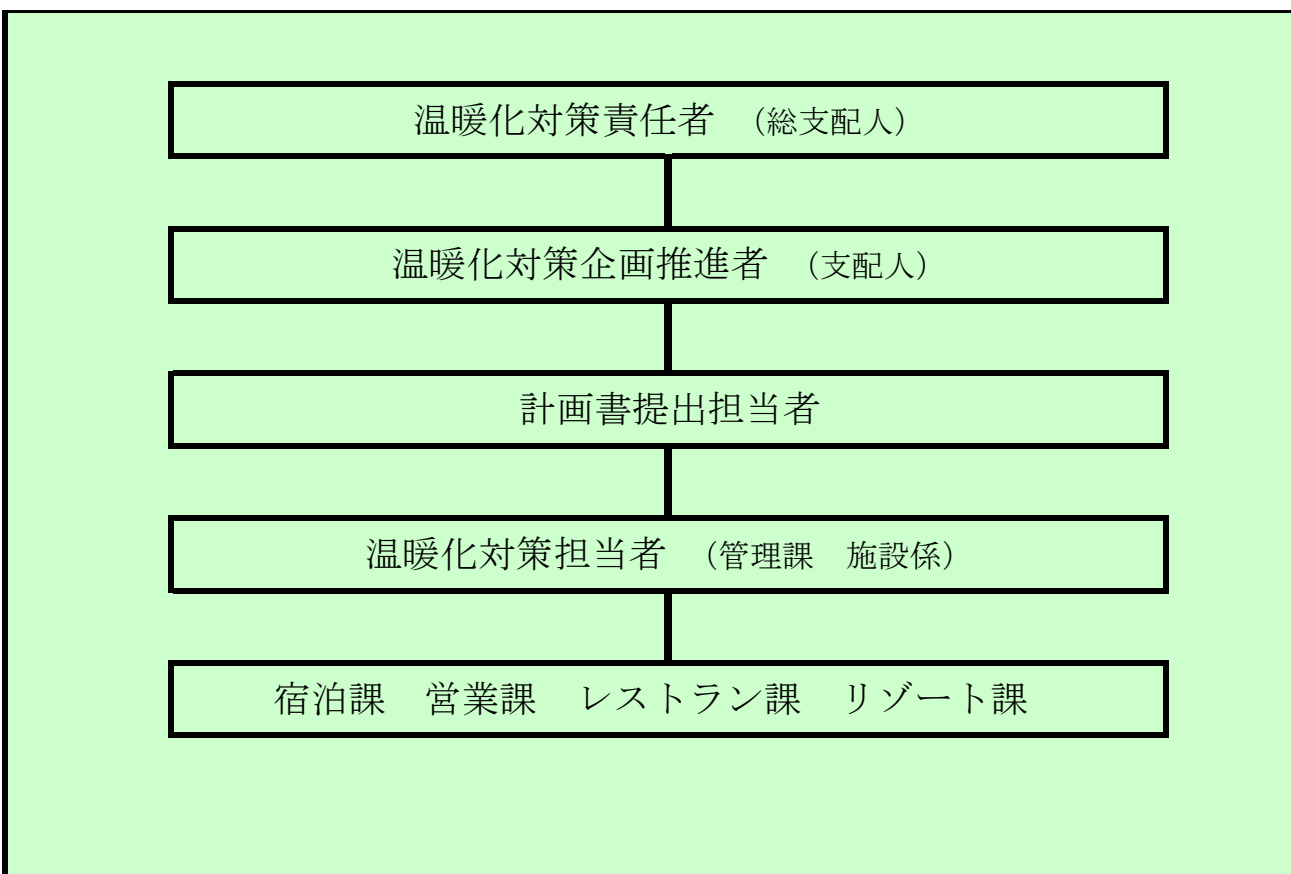
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	管理課事務所前掲示板へ設置し24時間閲覧可能。 お問合せ先：管理課 施設係 TEL：0261-82-3840（施設係直通）
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

従業員個々の省エネに対する意識の向上、空調温度の適正管理や不要照明・不要器具の適時停止などサービス低下につながらない範囲で積極的に社全体で省エネに取り組む。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

安全衛生委員会 (2ヵ月に一度程度)

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	3,364	t-CO ₂	延床面積	210.00	単位	百㎡
2019年度	調整後排出量	3,364	t-CO ₂	基準原単位	16.02	t-CO ₂ /	百㎡
目標年度	目標排出量	3,297	t-CO ₂	目標原単位	15.70	t-CO ₂ /	百㎡
2022年度	目標削減率	1.99	%	目標削減率	2.00	%	
目標設定に関する説明	第2次期に引き続き、適正照度管理・ポンプ等の運転時間の適正管理・適正運営を行う。従業員への省エネに対する更なる意識向上を推進する。基準年度の数値は特例的に低かった為、3ヶ年で2%の削減を目標とする。						
第一年度	排出量	1,778	t-CO ₂	延床面積	210.00	単位	百㎡
	削減率	47.14	%	原単位	8.47	t-CO ₂ /	百㎡
2020年度	調整後排出量	1,778	t-CO ₂	原単位削減率	47.12	%	
	削減率	47.14	%				
排出量等の増減理由	COVID19の影響による営業自粛等により例外的な年度となった。そのため排出量は例年に比べ大幅減少となった。						
第二年度	排出量	2,346	t-CO ₂	延床面積	210.00	単位	百㎡
	削減率	30.26	%	原単位	11.17	t-CO ₂ /	百㎡
2021年度	調整後排出量	2,346	t-CO ₂	原単位削減率	30.27	%	
	削減率	30.26	%				
排出量等の増減理由	COVID19収束傾向により徐々に客足が増加してきたため各機器などの稼働増加により昨年度に比べ排出量が増加した。バス事業は縮小していたため軽油量も引き続き低く推移。						
第三年度	排出量	2,837	t-CO ₂	延床面積	210.00	単位	百㎡
	削減率	15.66	t-CO ₂	原単位	13.51	t-CO ₂ /	百㎡
2022年度	調整後排出量	2,837	t-CO ₂	原単位削減率	15.66	%	
	削減率	15.66	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	2020～2022年度はCOVID19の影響を受けた期間となった。各年度ごと徐々に客足・営業日数が回復。それに伴い各機材の稼働も増えたため排出量も増加したが全体的に低推移となった。今後の営業状況の変化（更なる回復）により、排出量が増加してしまう可能性が危惧される。						

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	233	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	130101	設定温度、湿度の適正化	2020～ 2022	20	2020～ 2022	10
2	エネ起	130105	運転時間、ファン動力の軽減対策	2020～ 2022	50	2020～ 2022	20
3	エネ起	150204	適正照度の管理	2020～ 2022	50	2020～ 2022	20
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満	1	3,364						
1,500k1未満			1	1,778	1	2,346	1	2,837
合計	1	3,364	1	1,778	1	2,346	1	2,837

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車				
電気自動車				
燃料電池自動車				
クリーンディーゼル自動車				
その他 (ハイブリッド等)				
合計	0	0	0	0
自動車総数	16	15	15	10
次世代車導入割合				

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	繁忙期（主に冬季）は寮・駅からの従業員送迎・乗り合わせ通勤を実施
自転車利用促進	特にしていない
来客者の交通対策	特にしていない
物流の合理化	該当せず

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		
	名称		
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBTを策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Actionへ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄